

洪水対策案 4（水田貯留主体案）について

■対策内容

- ・長良川県管理区間において、河道掘削、護岸、堤防整備などの河道改修を伴う。
- ・長良川芥見地点より上流の全流域内の水田を対象に、畔を嵩上げし雨水を一時的に貯めることで、長良川本川の洪水流量を低減させる。
- ・水田面積が占める割合が多くなる平野部の長良川沿線地域に治水効果がある。
- ・ここで、内水被害が顕著な有堤部などでは、長良川上流地域ほど洪水流量低減効果が見込めないため、水田貯留効果は、長良川芥見地点より上流域のみ見込む。

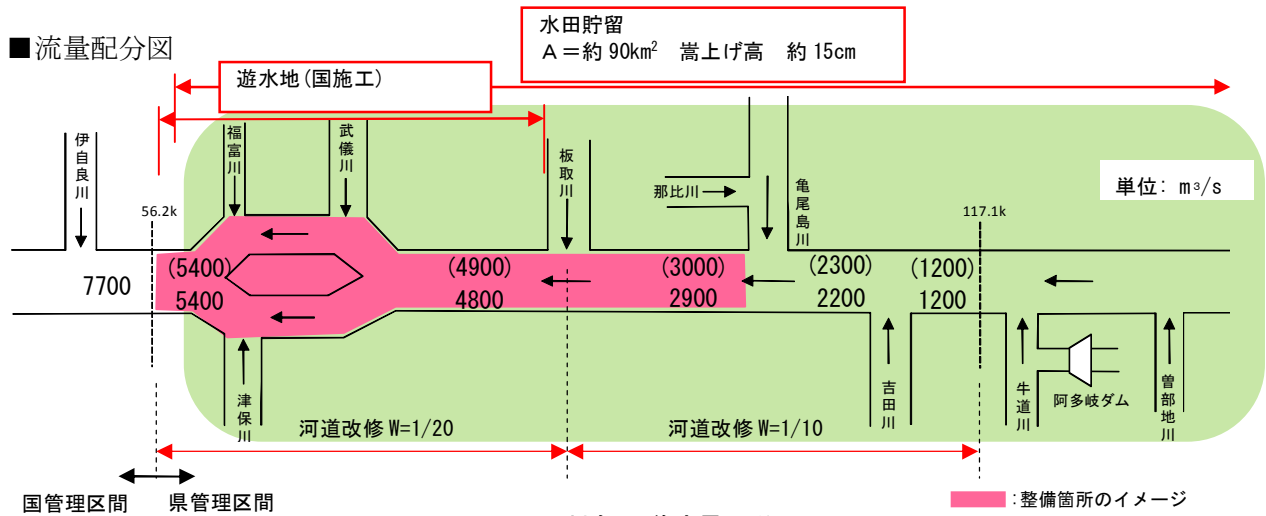


図-1.1 対象河道流量配分

■整備内容

【河道改修】

計画高水流量 (～77.0km) 4,800m³/s
 (77.0km～) 2,900m³/s

【洪水調節施設】

遊水地 (国施工)
 水田貯留 面積 約 90km² 嵩上げ高 約 15cm

■長所

- ・長良川県管理区間において洪水調節効果がある。

■短所

- ・河川管理者の管理施設とはならないため、適切な維持管理を行うことができない。
- ・水田の畦の維持管理を継続していくことなど、水田所有者にとって負荷が大きいことが想定される。
- ・許容する貯留量を超えた場合などで、畦が崩壊し河川への流入が急激に増えることが想定される。
- ・水田貯留による洪水調節効果を定量的に期待することは、これまでに行われていない。

■概算事業費

総事業費 約 1,030.61 億円 (※)
 ・河道改修費 (基本) 約 298.62 億円
 ・水田嵩上げ費 約 525.99 億円
 ・遊水地 (国施工) 建設費 約 206 億円

※嵩上げに伴う田圃の減反面積分の補償費を見込むと、更に 190.43 億円の費用が生じる。

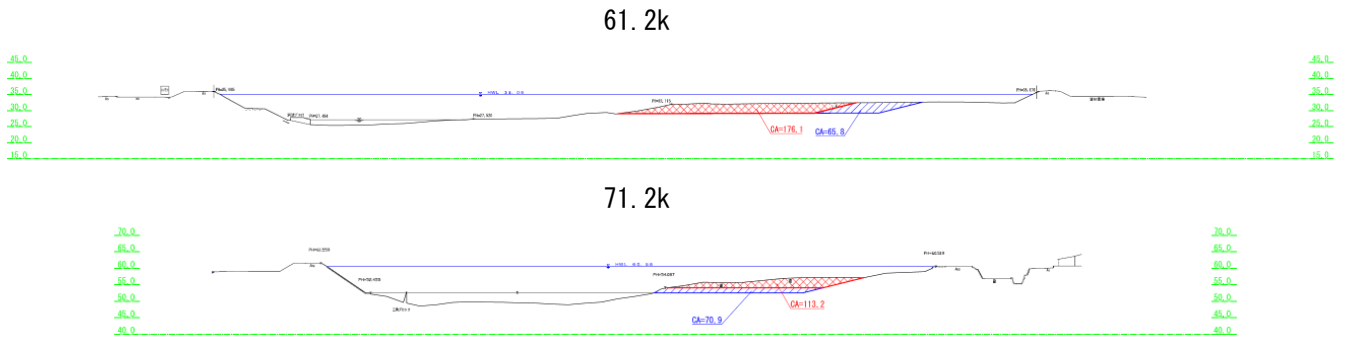


図 -1.2 河道改修+水田貯留案 横断面 (※赤・青色範囲が整備イメージ)

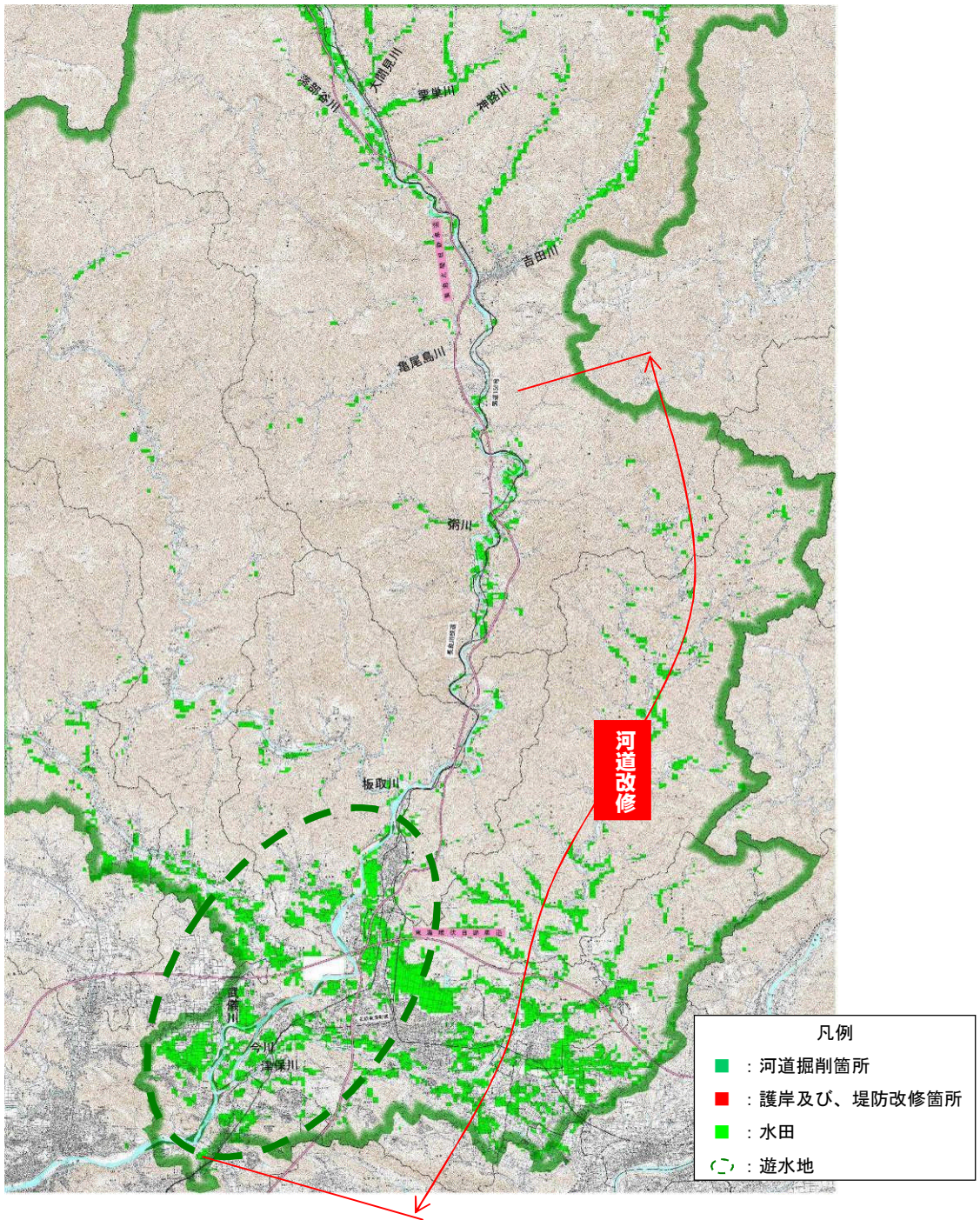
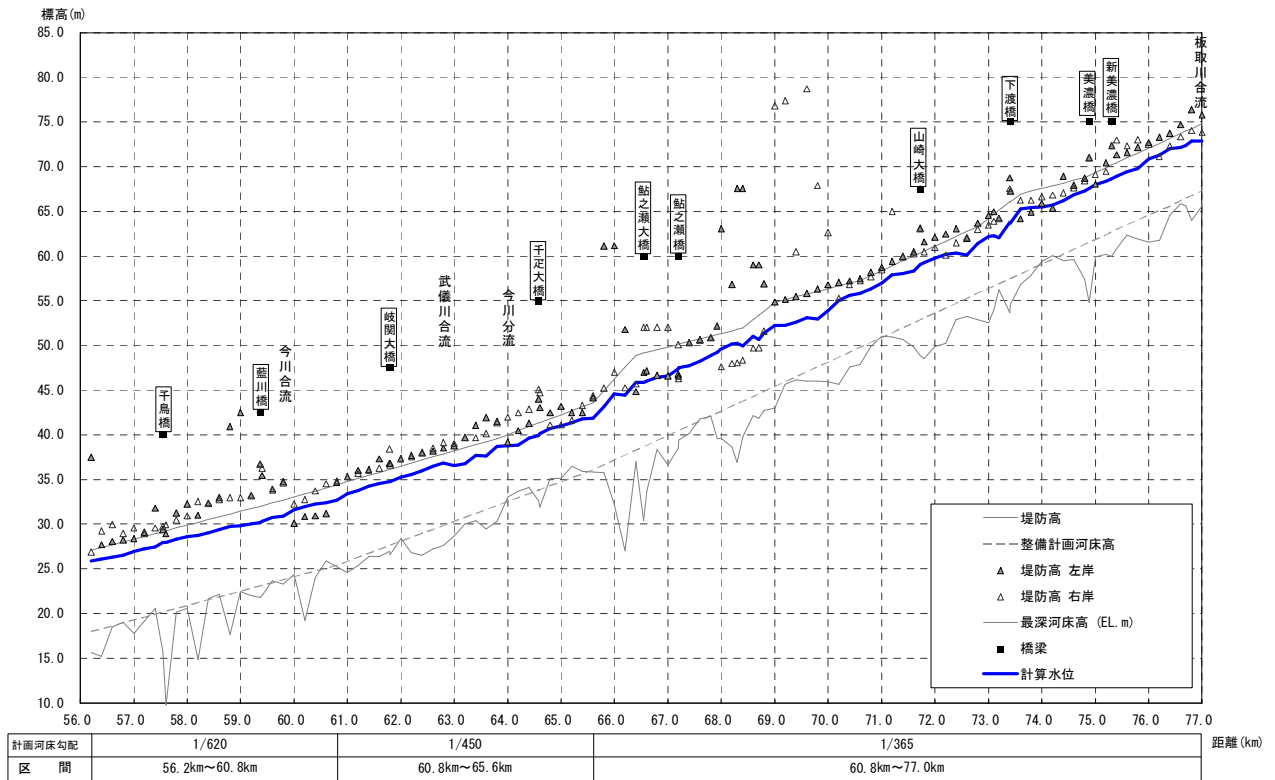
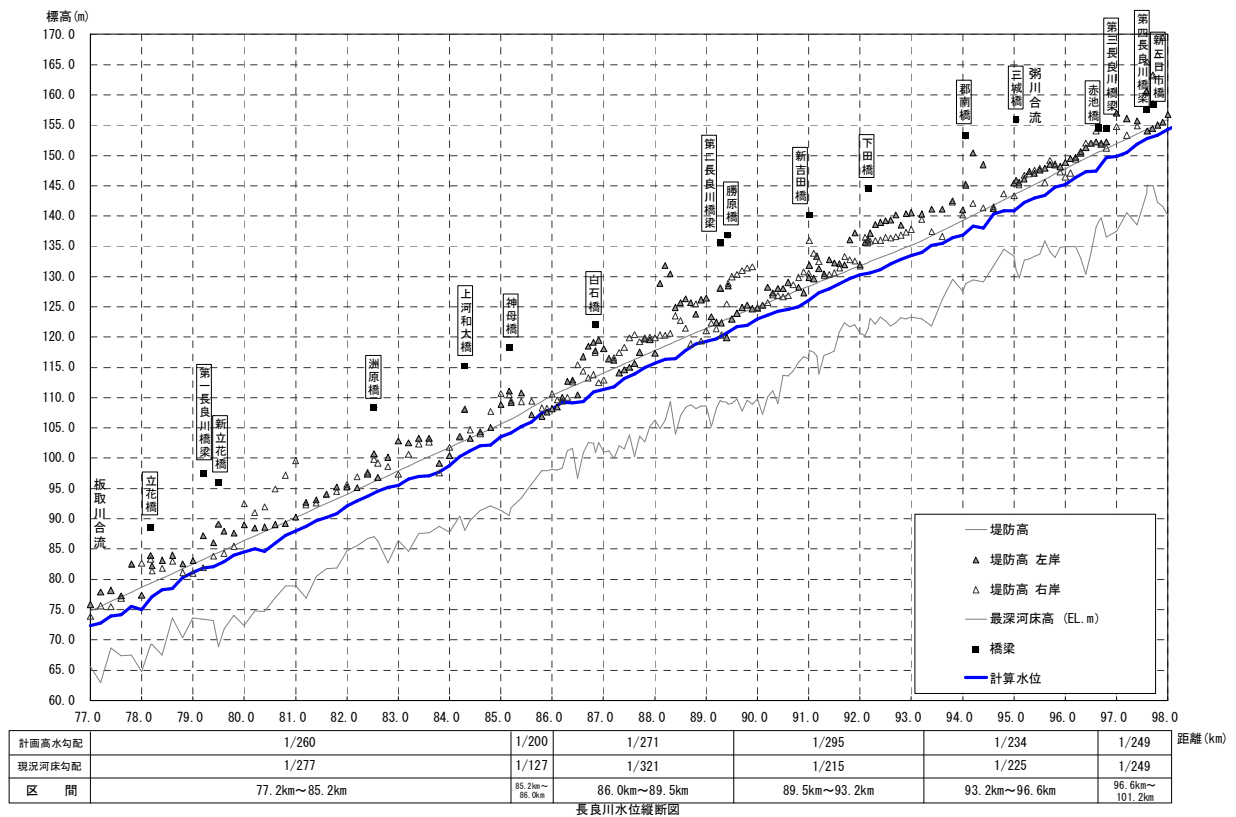


図 -1.3 河道改修+水田貯留案 平面図



長良川水位縦断面

図-1.4 河道改修+水田貯留案 縦断面(56km~77km)



長良川水位縦断面

図-1.5 河道改修+水田貯留案 縦断面(77km~98km)

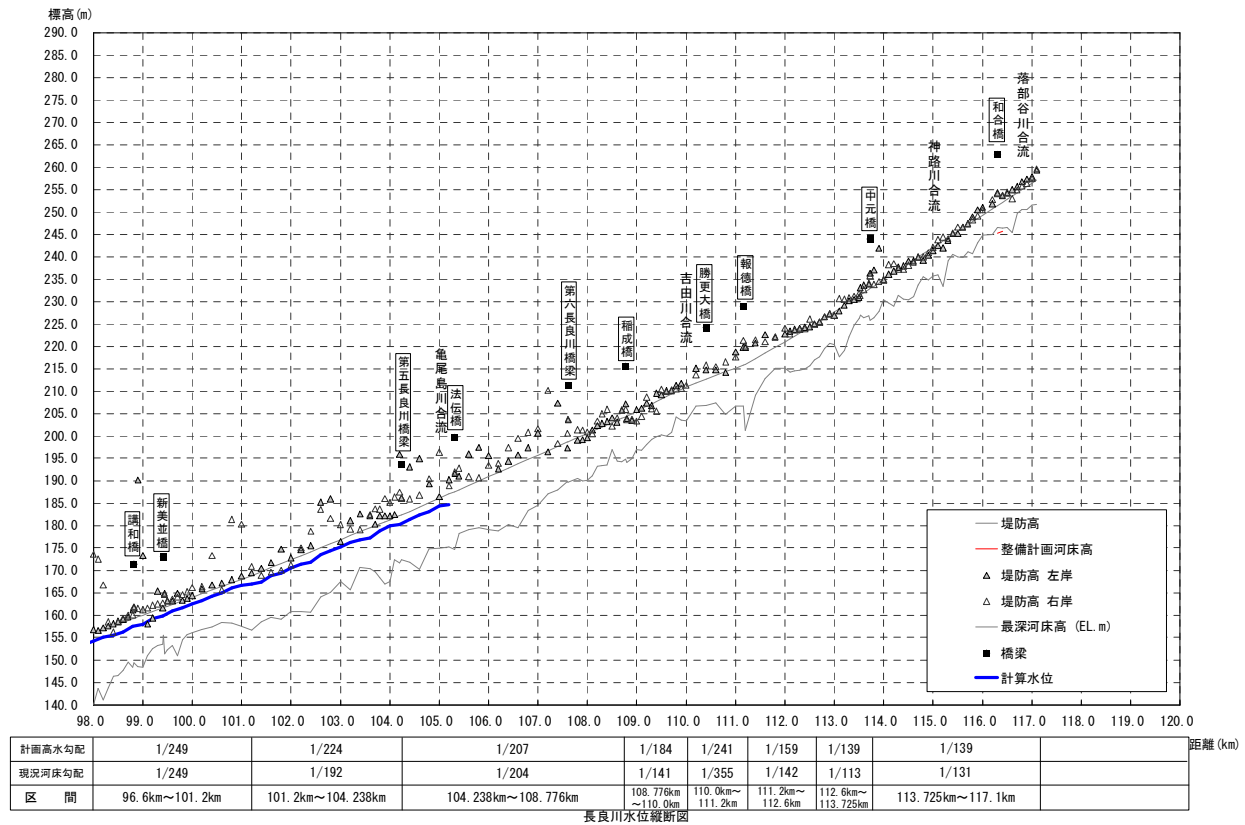


図-1.6 河道改修+水田貯留案 縦断面図 (98km~117km)